

製品安全データシート (SDS)

作成日 2021/03/05

1：化学品及び会社情報

1-1	製品名	インプレグネーションリムーバー	英名	Impregnation Remover
	製品番号	12003, 12004		
	用途	洗浄剤/クリーナー		
1-2	製造業者/供給者情報			
	製造元/供給元	AKEMI chemisch technische Spezialfabrik GmbH		
	製造元住所	Lechstrasse D 90451 Nurnberg deuchland		
	TEL	+44(171)635-9191	+49(0)911-64296-59	
	製造担当部門	AKEMI Laboratory		
1-3	提供者情報			
	輸入元/総販売元	藤栄株式会社		
	住所	〒 587 0944 大阪府東大阪市若江西新町 4-5-25		
	担当部署	貿易 部		
	T E L	06-6725-5236		
	F A X	06-6725-3366		

2：危険有害性の要約

- 2-1 物質/混合物の分類
- ・ Skin Corr.1A H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
 - ・ Eye Dam.1 H318 重篤な眼の損傷

2-2 ラベル要素

- ・ 危険標識



- ・ 注意喚起語 危険
- ・ 注意書き

P101 医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。

P102 子供の手の届かない所に置くこと。

P103 使用前にラベルをよく読むこと。

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

P301+P330+P331

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P303+P361+P353

皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

P305+P351+P338

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P310 ただちに医師に連絡すること。

P405 施錠して保管すること。

P501 内容物／容器を国、都道府県、市町村の規制に従って廃棄すること。

3：組成および成分情報

3-1 化学的特性：混合物

- 説明：混合物：以下の成分からなる

水酸化ナトリウム (sodium hydroxide)			含有量	<10%
CAS：1310-73-2	Met.Corr.1	H290		
EINECS：215-185-5	Skin Corr.1A	H314		
インデックス番号：011-002-00-6	Acute Tox.4	H302		
登録番号：01-2119457892-27				
テトラデシルジメチルアミンオキシド (tetradecyldimethylamine oxide)			含有量	1～5%
CAS：3332-27-2	Eye Dam.1	H318		
EINECS：222-059-3	Aquatic Acute 1	H400		
	Skin Irrit.2	H315		
D-Glucopyranose, oligomeric, C10-16-alkyl glycosides			含有量	1～5%
CAS：110615-47-9	Eye Dam.1	H318		
登録番号：01-2119489418-23	Skin Irrit.2	H315		

- 追加情報：記載された危険指示はセクション16を参照のこと。

4：応急処置

4-1 応急処置の説明

- 一般的な初期手当
 - 汚染した衣類は直ちに脱ぐ。
- 吸い込んだ場合
 - 横向きで安定させて搬送する。
 - 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息すること。
- 皮膚に付着した場合
 - 多量の水と石鹼で洗うこと。
 - 直ちに医師に連絡すること。
- 眼に入った場合
 - 流水で数分間注意深く洗浄すること。
 - コンタクトレンズを使用していて容易に外せる場合は、外すし洗浄をすること。
 - 洗浄後、医師の診断を仰ぐこと。
- 飲み込んだ場合
 - 口をすすぐこと、無理に吐かせないこと。
 - 直ちに医師に連絡すること。

4-2 急性症状および遅発性症状の最も重要な徴候症状
関連情報はない。

4-3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態
関連情報はない。

5：火災時の措置

5-1 消火剤

- 適切な消火剤
泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガスを使用する。
粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂
- 不適当な消火剤
フルジェット水

5-2 物質または混合物に起因する特別な危険性

加熱中または火災の際、有毒ガスが発生するおそれがある。
以下のものが放出される。
一酸化炭素 (CO)

特定の火災条件下では、その他の有毒ガスが放出することもある。

5-3 消防士へのアドバイス

消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服（耐熱性）を着用する。
爆発ガス、燃焼ガスを吸い込まないようにする。
規定に従って火災の残骸と汚染された消化水を処分する。
消火水は別で回収し、下水道に入り込まないようにする。

6：漏出時の措置

6-1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

関係者以外は近づけない。
作業者は適切な保護具（「8.暴露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、
眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

6-2 環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
水路または下水道に浸透した場合は、関係局に通知する。

6-3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める。
少量の場合は、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆っていて密着できる
空容器に回収する。

6-4 二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
床面に残ると滑る危険性があるため、こまめに処理する。

7：取り扱いおよび保管上の注意

7-1 取扱い

- ・ 技術的対策
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入してはならない。
換気の良い場所で作業する。
- ・ 安全取扱注意事項
眼、皮膚又は衣類に付けないこと。
- ・ 衛生対策
取扱い後はよく手を洗うこと。

7-2 保管

- ・ 安全な保管条件
日光から遮断すること。
容器を密閉して保管すること。
- ・ 安全な容器包装材料
包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。
消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8：曝露防止及び保護措置

8-1 設備対策

・ 作業場で監視が必要な制限値のある成分：		
1310-73-2 水酸化ナトリウム		
WEL	短期値： 2 mg / m ³	
1310-73-2 水酸化ナトリウム		
口腔	DNEL(長期)	2.3mg / kg 体重 / 日 (ARB)
皮膚	DNEL(長期)	11,718mg / kg 体重 / 日 (ARB) 11,718mg / kg 体重 / 日 (BEV)
吸入	DNEL(短期)	1mg / m ³ / 空気 (ARB) 1mg / m ³ 空気 (BEV)
	DNEL(長期)	1-2.1mg / m ³ / 空気 (ARB) 1mg / m ³ 空気 (BEV)

8-2 保護具

- ・ 呼吸器の保護具
必要な個人用保護機器を使用すること。
- ・ 手の保護具
保護手袋を着用すること。
- ・ 眼の保護具
眼の保護具を着用すること。
- ・ 皮膚及び身体の保護具
長袖作業衣、必要に応じて保護服及び保護長靴を着用する。
- ・ 衛生対策
取扱い後は汚染箇所をよく洗う。
使用の際は、飲食/喫煙をしてはならない。

9：物質的及び化学的性質

9-1 基本的な物理化学的特性についての情報

・ 一般情報	
・ 外観	形：液体 色：くすみ色
・ 臭い	マイルド
・ 嗅覚閾値	未定
・ pH-値	14
・ 条件の変更	融点／硬化点：未定 沸点／沸点範囲：未定
・ 引火点	適応無し
・ 可燃性（固体、ガス）	適応無し
・ 分解温度	未定
・ 自動点火	製品は自動点火しない。
・ 爆発性	製品は爆発の危険はない。
・ 爆発限界	下限：未定 上限：未定
・ 20°Cでの蒸気圧	23hPa
・ 20°Cでの密度	1.12g / cm ³
相対密度	未定
蒸気密度	未定
蒸発速度	未定
・ 水への溶解性／混和性	よく混和する。
・ 分配係数：n-オクタール/水	未定
・ 粘度	粘度性：未定 動粘度性：未定
・ 溶剤含有量	水：86.4%

9-2 その他の情報 関連情報はない。

10：安定性及び反応性

10-1 反応性

通常の保管・取扱い条件において安定と考える。

10-2 化学的安定性

通常の条件下では安定である。

10-3 避けるべき条件

関連情報はない。

10-4 危険有害な分解生成物

関連情報はない。

10-5 混触危険物質

関連情報はない。

10-6 危険有害性分解性生物

関連情報はない。

1 1：有害性情報

11-1 毒性に関する情報

- 急性毒性：これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

- LD / LC50 分類に関連した値：

ATE (急性毒性推定値)

経口	LD50	20,800mg / kg (ラット)
----	------	---------------------

1310-73-2 水酸化ナトリウム

経口	LD50	2,000mg / kg (ラット)
----	------	--------------------

	LC50 / 48h	145mg / l (グッピー)
--	------------	------------------

110615-47-9 D-Glucopyranose, oligomeric, C10-16-alkyl glycosides

経口	LD50	>5,000mg / kg (ラット)(OECD 401)
----	------	-------------------------------

経皮	LD50	>2,000mg / kg (ラット)(OECD 402)
----	------	-------------------------------

		>2,000mg / kg (ウサギ)
--	--	---------------------

吸入	LC50	>10mg / l (ラット)
----	------	-----------------

	NOAEC	>1mg / l (淡水魚)(OECD 204)
--	-------	--------------------------

- 皮膚腐食性及び皮膚刺激性
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷を引き起こす。
- 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性
重篤な眼の損傷を引き起こす。
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性
データなしのため呼吸器感作性一分類できないとした。
- 生殖細胞変異原性
データなしのため呼吸器感作性一分類できないとした。
- 発がん性
データなしのため呼吸器感作性一分類できないとした。
- 生殖毒性
データなしのため呼吸器感作性一分類できないとした。
- 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)
データなしのため特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 一分類できないとした。
- 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)
データなしのため特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 一分類できないとした。
- 吸引性呼吸器有害性
データなしのため特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 一分類できないとした。

1 2：生態学的情報

12-1 毒性

<ul style="list-style-type: none"> 水生生物毒性： 	
1310-73-2 水酸化ナトリウム	
EC50 / 24h	76mg / l (ミジンコ)
LC50 / 24h	145mg / l (グッピー)
EC50 / 15min	22mg / l (発光バクテリア)
EC50 / 48h	76mg / l (ミジンコ)
LC50 / 96h	196mg / l (魚) 125mg / l (カダヤシ)
3332-27-2 テトラデシルジメチルアミンオキシド	
EC50 / 48h	11.1mg / l (ミジンコ)(OECD 202)
ErC50 / 72h	0.19mg / l (ムレミカヅキモ)(OECD 201)
LC50 / 96h	10.3mg / l (淡水魚)(OECD 203)
110615-47-9 D-Glucopyranose, oligomeric, C10-16-alkyl glycosides	
EC50	>10-<100mg / l (ミジンコ)(RL 92/69/EWG) >10-<100mg / l (緑藻 デスマデスマス)(OECD 201)
LC50	>1-<10mg / l (淡水魚)(OECD 203; ISO 7346)
EC0	>5,000mg / l (シュードモナス・プチダ)(Din 38412 Teil 8)
EC10	>1mg / l (ミジンコ)(OECD 202 Teil 2)
LC50 / 96h	>1-<10mg / l (淡水魚)

12-2 持続性及び分解性

生分解性がある。

12-3 生物蓄積性

関連情報はない。

12-4 土壌中の移動

関連情報はない。

- 一般的な注意事項：

多量の製品を地下水や水路に入らないようにすること。

魚やプランクトン等の水生生物に有毒。

水危険性クラス1（ドイツ規制）（自己評価）：水に対してやや危険

12-5 PBT および vPvB 評価の結果

- PBT：適応なし

- vPvB：適応なし

12-6 その他の悪影響

関連情報はない。

13：廃棄上の注意

13-1 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

- ・ 汚染容器及び包装
空容器類を破棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理又は回収にまわす。

14：輸送上の注意

14-1 国際規制

- ・ 海上規制情報
I N Oの規定に従う。

14-2 国連番号

1719 カ性アルカリ類（水酸化ナトリウム）

- ・ シッピングネーム
カ性アルカリ類（水酸化ナトリウム）

14-3 容器等級

2

14-4 海洋汚染物質

適応なし

- ・ 国内規制

14-5 特別の安全対策

「7.取扱い及び保管上の注意」の記載に従うこと。

容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

- ・ 陸上規制
消防法、労働安全衛生法、毒物劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。
- ・ 海上輸送
船舶安全法の規定に従うこと。
- ・ 航空輸送
航空法の規定に従う。

15：適用法令

15-1 物質の安全性、健康及び環境に関する規制／法律

- ・ 毒劇物取締法
劇物（水酸化ナトリウム）
- ・ 船舶安全法
腐食性物質（水酸化ナトリウム）
- ・ 航空法
腐食性物質（水酸化ナトリウム）
- ・ 港則法
腐食性物質（水酸化ナトリウム）
- ・ 海洋汚染防止法
有害液体物質（水酸化ナトリウム）

16：その他の情報

この情報は現在の知識に基づいています。ただし、特定の製品機能の保証を構成するものではなく、法的に有効な契約上の関係を確認するものではありません。

- ・ 関連フレーズ
 - H290 金属腐食のおそれ
 - H302 飲み込むと有害
 - H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
 - H315 皮膚刺激
 - H318 重篤な眼の損傷
 - H400 水生生物に強い毒性
- ・ 推奨使用制限
 - テクニカルデータシート（TDS）を参照する。
- ・ SDS 発行部門：
 - 研究室
- ・ 連絡先：
 - Dieter Zimmermann
- ・ 略語と頭字語：

ADR	欧州連合 (EU) に関する欧州合意 道路による危険物の運送
IMDG	危険物に関する国際海上コード
IATA	国際航空運送協会
GHS	化学品の危険有害性
EINECS	既存の商業化学物質の欧州インベントリ
ELINCS	通知された化学物質の欧州リスト
CAS	ケミカルアブストラクトサービス(アメリカ化学協会の部門)
DNEL	導出無影響 レベル (REACH)
LC50	致死濃度 50%
LD50	致死量 50%
PBT	難分解性化学物質 (持続的な生物蓄積毒性)
vPvB	極難分解性有害物質
Met.Corr.1	金属腐食性化学品 1
Acute Tox.4	急性毒性 カテゴリー 4
Skin Corr.1A	皮膚腐食性 カテゴリー 1A
Skin Irrit.2	皮膚腐食性/刺激 カテゴリー 2
Eye Dam.1	重大な眼刺激性/眼刺激性 カテゴリー 1
Aquatic Acute 1	水生環境に有害/急性水生毒性 カテゴリー 1
- ・ *前回のデータから変更されたデータ
 - REACH 1907/ 2006/EC 指令に従って適応